

# 育成ステップ 年間計画（管理業務部）

期間	育成テーマ	主な内容	期待される状態
1～2週間	入構準備・基礎教育	入門証作成手続き(身元確認・申請書類提出)	発電所へ入構できる状態になる
1～2週間	入構準備・基礎教育	安全衛生教育(労働安全衛生法に基づく基礎教育)	労働安全衛生法に基づく基礎教育の内容(危険予知、作業手順、保護具、災害事例など)を理解し、現場での安全行動(手順遵守・危険予知・声掛け・保護具着用)に確実に反映できる
1～2週間	入構準備・基礎教育	放射線防護教育(線量計・管理区域・汚染の概念)	線量計の正しい使用方法、管理区域の区分と入退域ルール、汚染の概念と防止措置を理解し、区域内での行動(線量管理・動線遵守・保護具使用・汚染拡大防止)を確実に実践できる
1～2週間	入構準備・基礎教育	発電所構内ルール・動線・緊急時対応の理解	発電所構内のルール(立入区分・速度・携帯品管理)、決められた動線、緊急時対応(避難経路・集合場所・通報手順)を理解し、区域内での行動に確実に反映し、迷いや誤行動なく安全に行動できる
1～2か月	作業許可取得のための安全基礎固め	原子力安全文化(手順遵守・復唱・単独行動禁止)	原子力安全文化の基本である手順遵守・復唱・単独行動禁止の意味と重要性を理解し、作業中にこれらを確実に実践し、危険兆候や不一致を見逃さずに報告できる行動が安定して取れる
1～2か月	作業許可取得のための安全基礎固め	放射線管理の基礎(線量計・管理区域・汚染)	線量計の正しい使用、管理区域の区分と入退域ルール、汚染の概念と防止措置を理解し、区域内での行動(線量管理・動線遵守・保護具使用・汚染拡大防止)を確実に実践できる
1～2か月	作業許可取得のための安全基礎固め	廃棄物の種類・ラベルの読み方	廃棄物の種類(可燃・不燃・金属・汚染度区分など)とラベル表示(管理番号・種別・発生源・日付)を正しく読み取り、区画・保管場所・処理工程を誤らずに判断し、誤投入・誤区画・誤出荷を防ぐ行動を安定して実施できる
1～2か月	作業許可取得のための安全基礎固め	ドラム缶運搬の基礎(姿勢・保持・動線)	ドラム缶の姿勢・重心・動線を理解し、転倒・落下・接触事故を防ぐための適切な位置取りと保持ができる
1～2か月	作業許可取得のための安全基礎固め	フォーク・トラック・ユニックの危険範囲	フォーク・トラック・ユニックの危険範囲と死角を理解し、接触・巻き込まれ・つり荷下立ち入りを防ぐための安全な位置取りと行動ができる
1～2か月	作業許可取得のための安全基礎固め	実習(指導員立会い)+2週間ごとの所属長確認	
3～6か月	運搬作業の基礎	ドラム缶運搬の基礎(転倒・落下防止の理解と補助)	ドラム缶運搬における転倒・落下・接触の危険源を理解し、指導者のもとで安全な位置取り・周囲監視・補助動作を行い、事故防止に必要な行動が取れる
3～6か月	運搬作業の基礎	トラック荷台での安全姿勢・固縛(ラッシング)	トラック荷台での安全な姿勢・立ち位置、固縛(ラッシング)の基本手順と危険源を理解し、指導者のもとで荷崩れ・転倒・巻き込まれを防ぐための補助動作と確認行動を確実にこなせる
3～6か月	運搬作業の基礎	保管庫作業(区画管理・ラベル確認)	保管区画の配置・区分基準を理解し、ラベル情報(廃棄物種別・管理番号・保管期限等)を正確に照合して、誤配置・誤識別を防ぐための確認・記録・是正を確実に実施できる
3～6か月	運搬作業の基礎	フォーク誘導の基礎(死角・合図)	フォークリフトの死角と危険範囲を理解し、運転者に確実に伝わる標準合図を用いて、安全な
3～6か月	運搬作業の基礎	監視役として周囲監視	作業エリアの危険源(車両動線・人の動き・設備状況)を把握し、死角や接触リスクを考慮した位置取りで周囲を継続的に監視し、異常や危険兆候を早期に発見して、適切な合図・声掛け
3～6か月	作業観察と補助(フォーク・トラック中心)	重機作業の観察・補助	基本動作(発進・停止・旋回・爪操作)の流れを理解し、安全な位置取りで補助作業に参加できる
7～9か月	ユニック・つり荷作業の理解と資格取得	ユニック作業の危険範囲理解	ユニックの作動範囲・死角・つり荷の挙動を理解し、旋回・巻き込み・荷振れなどの危険源を踏まえて安全な位置取りと周囲監視を行い、接触・巻き込まれ・つり荷下立ち入りを防ぐ行動を安定して実施できる
7～9か月	ユニック・つり荷作業の理解と資格取得	合図の種類(手・声)	標準化された手合図と声掛けの種類を理解し、運転者に確実に伝わるように状況に応じて使い分け、安全な位置取りで明確・統一された合図を出し、誤認や伝達ミスを防ぐ行動を安定して
7～9か月	ユニック・つり荷作業の理解と資格取得	玉掛け補助(資格取得後)	つり荷の姿勢・重心・吊り点を理解し、主たる玉掛け者の指示に従って安全な位置取りで補助し、周囲監視・合図・危険兆候の報告を確実にし、つり荷の安定保持と接触事故の防止
7～9か月	ユニック・つり荷作業の理解と資格取得	廃棄物処理フローの理解(受入→分別→保管→出荷)	受入・分別・保管・出荷の各工程で必要な確認項目と禁止事項を理解し、廃棄物の種別・管理
7～9か月	作業計画書の理解	作業計画書内容の理解と現場への落とし込み	作業計画書に記載された作業手順・危険源・対策内容を理解し、現場での安全行動(位置取り
7～9か月	他班・他社との連携	作業調整と周辺作業の把握	元請および他協力会社の作業計画・動線・周辺作業を把握し、自班作業との干渉リスクを事前
7～9か月	ユニック・つり荷作業の理解と資格取得	玉掛け技能講習、小型移動式クレーン講習	玉掛け作業の基本原則(重心・吊り点・姿勢)と標準合図を理解し、指導者のもとで安全な位置取りと補助動作を確実にし、つり荷の安定保持と接触事故防止に必要な行動が取
10～12か月	安全主導の基礎	朝礼・安全唱和の担当	朝礼や安全唱和において、当日の作業内容・危険源・注意事項を正確に把握し、班内へ分か
10～12か月	安全主導の基礎	作業前ミーティングの主導(危険源・対策)	作業前ミーティングにおいて、当日の作業内容・危険源・対策・役割分担を整理し、班員へ分
10～12か月	安全主導の基礎	小規模作業の安全主導(作業前ミーティング)	規模な班内作業において、作業前ミーティングを主導し、危険源・対策・役割分担を整理して
10～12か月	安全文化の定着	ヒヤリ・改善提案の整理	ヒヤリ・改善提案の整理 現場で発生したヒヤリや作業上の問題点を整理し、原因・背景・再発防止策を明確にして班長・安全担当へ適切に共有し、改善につながる情報提供ができ
10～12か月	資格活用の定着	フォーク・玉掛け・小型移動式クレーンなど資格取得完了	取得した資格の内容を理解し、手順遵守・安全な位置取り・周囲監視・合図確認を安定して実施し、資格者として現場の安全確保に貢献できる

時期	資格
3～4か月	玉掛け技能講習
6～8か月	フォークリフト技能講習
8～10か月	小型移動式クレーン技能講習(必要に応じて)

# 育成ステップ 年間計画 (工事部)

期間	育成テーマ	主な内容	期待される状態
1~2週間	入構準備・基礎教育	入門証作成手続き(身元確認・申請書類提出)	発電所へ入構できる状態になる
1~2週間	入構準備・基礎教育	安全衛生教育(労働安全衛生法に基づく基礎教育)	労働安全衛生法に基づく基礎教育の内容(危険予知、作業手順、保護具、災害事例など)を理解し、現場での安全行動(手順遵守・危険予知・声掛け・保護具着用)に確実に反映でき線量計の正しい使用方法、管理区域の区分と入退域ルール、汚染の概念と防止措置を理解し、区域内での行動(線量管理・動線遵守・保護具使用・汚染拡大防止)を確実に実践できる
1~2週間	入構準備・基礎教育	放射線防護教育(線量計・管理区域・汚染の概念)	発電所構内のルール(立入区分・速度・携帯品管理)、決められた動線、緊急時対応(避難経路・集合場所・通報手順)を理解し、区域内での行動に確実に反映し、迷いや誤行動なく安全に行動できる
1~2週間	入構準備・基礎教育	発電所構内ルール・動線・緊急時対応の理解	
1~2か月	作業に必要な資格、免許等の取得	各資格についての知識	各作業での注意ポイントを理解し、作業中にこれらを確実に実践し、危険兆候や不一致を見逃さずに報告できる行動が安定して取れる
1~2か月	作業のための安全基礎固め	放射線管理の基礎(線量計・管理区域・汚染)	線量計の正しい使用、管理区域の区分と入退域ルール、汚染の概念と防止措置を理解し、区域内での行動(線量管理・動線遵守・保護具使用・汚染拡大防止)を確実に実践できる
1~2か月	作業のための安全基礎固め	各元請、発電所ルールを理解	多くのルール、決まりの中から、当日該当するルールを再確認する。
1~2か月	作業のための安全基礎固め	クレーン運転の基礎(ホイスト操作)	クレーン作業での危険なポイントを理解し、作業者のコミュニケーションがとれる
1~2か月	作業のための安全基礎固め	フォーク・トラック・ユニックの危険範囲	フォーク・トラック・ユニックの危険範囲と死角を理解し、接触・巻き込まれ・つり荷下立ち入りを防ぐための安全な位置取りと行動ができる
3~6か月	クレーン操作の基礎	クレーン運転の基礎(天井クレーン操作)	クレーン作業での危険なポイントを理解し、作業者のコミュニケーションがとれる
3~6か月	運搬作業の基礎	トラック荷台での安全姿勢・固縛(ラッシング)	トラック荷台での安全な姿勢・立ち位置、固縛(ラッシング)の基本手順と危険源を理解し、指導者のもとで荷崩れ・転倒・挟まれを防ぐための補助動作と確認行動を確実に実行する
3~6か月	運搬作業の基礎	フォーク誘導の基礎(死角・合図)	フォークリフトの死角と危険範囲を理解し、運転者に確実に伝わる標準合図を用いて、安全な
3~6か月	運搬作業の基礎	監視役として周囲監視	作業エリアの危険源(車両動線・人の動き・設備状況)を把握し、死角や接触リスクを考慮した位置取りで周囲を継続的に監視し、異常や危険兆候を早期に見つけて、適切な合図・声掛け
3~6か月	作業観察と補助(フォーク・トラック中心)	重機作業の観察・補助	基本動作(発進・停止・旋回・爪操作)の流れを理解し、安全な位置取りで補助作業に参加できる
7~9か月	ユニック・つり荷作業の理解と資格取得	ユニック作業の危険範囲理解	ユニックの作動範囲・死角・つり荷の挙動を理解し、旋回・巻き込み・荷崩れなどの危険源を踏まえて安全な位置取りと周囲監視を行い、接触・挟まれ・つり荷下立ち入りを防ぐ行動を安定
7~9か月	ユニック・つり荷作業の理解と資格取得	合図の種類(手・声・笛)	標準化された手合図と声掛けの種類を理解し、運転者に確実に伝わるように状況に応じて使い分け、安全な位置取りで明確・統一された合図を出し、誤認や伝達ミスを防ぐ行動を安定し
7~9か月	ユニック・つり荷作業の理解と資格取得	玉掛け補助	つり荷の姿勢・重心・吊り点を理解し、主たる玉掛け者の指示に従って安全な位置取りで補助し、周囲監視・合図・危険兆候の報告を確実に実行し、つり荷の安定保持と接触事故の防止
7~9か月	クレーン・つり荷作業の理解と資格取得	合図の種類(手・声・笛)	標準化された手合図と声掛けの種類を理解し、運転者に確実に伝わるように状況に応じて使い分け、安全な位置取りで明確・統一された合図を出し、誤認や伝達ミスを防ぐ行動を安定し
7~9か月	作業計画書の理解	作業計画書内容の理解と現場への落とし込み	作業計画書に記載された作業手順・危険源・対策内容を理解し、現場での安全行動(位置取り)
7~9か月	他班・他社との連携	作業調整と周辺作業の把握	元請および他協力会社の作業計画・動線・周辺作業を把握し、自班作業との干渉リスクを事前
10~12か月	安全主導の基礎	朝礼・安全唱和の担当	朝礼や安全唱和において、当日の作業内容・危険源・注意事項を正確に把握し、班内へ分かり
10~12か月	安全主導の基礎	作業前ミーティングの主導(危険源・対策)	作業前ミーティングにおいて、当日の作業内容・危険源・対策・役割分担を整理し、班員へ分かりやすく共有して、安全に作業を開始できる状態を整えられる
10~12か月	安全主導の基礎	小規模作業の安全主導(作業前ミーティング)	規模な班内作業において、作業前ミーティングを主導し、危険源・対策・役割分担を整理して班内に共有し、安全な作業開始に必要な準備を整えられる
10~12か月	安全文化の定着	ヒヤリ・改善提案の整理	ヒヤリ・改善提案の整理 現場で発生したヒヤリや作業上の問題点を整理し、原因・背景・再発防止策を明確にして班長・安全担当へ適切に共有し、改善につながる情報提供ができ

時期	資格
1~2か月	玉掛け技能講習
1~2か月	クレーン運転士
3~5か月	小型移動式クレーン技能講習、フォークリフト